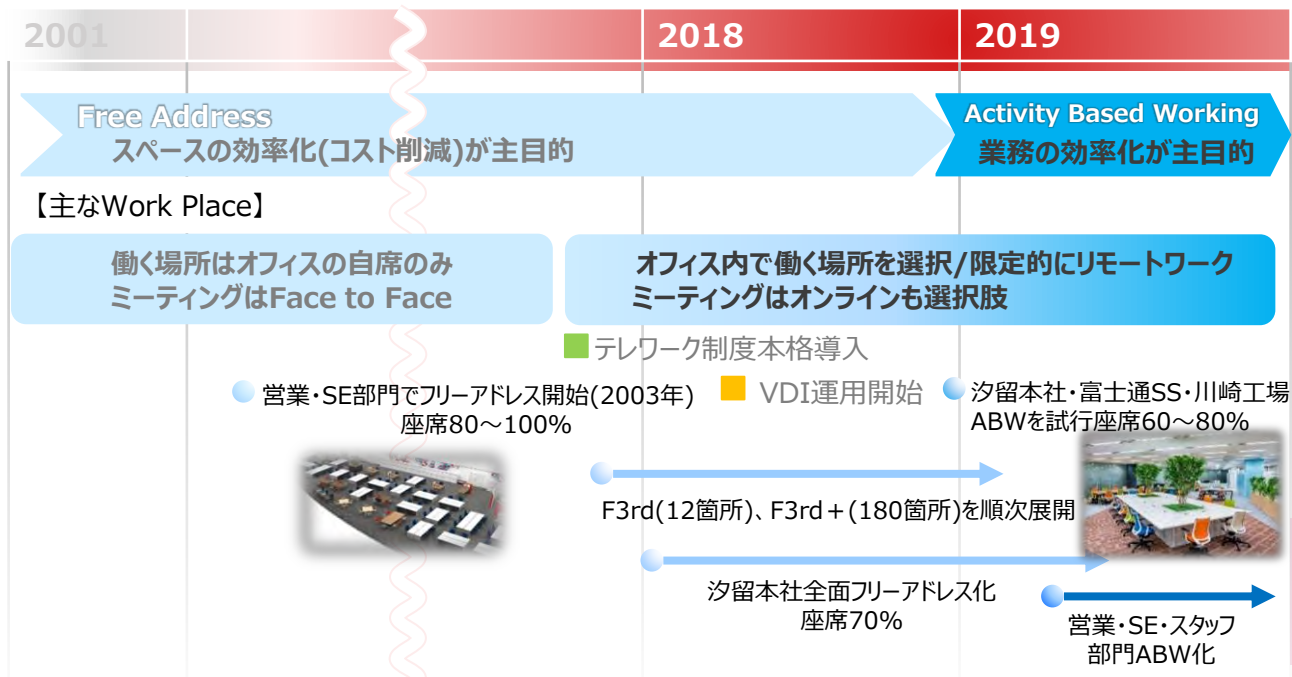


【Work Life Shift】

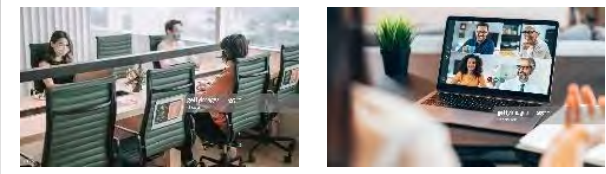
Borderless Officeの推進について

1. 富士通におけるオフィスの変遷



COVID-19 What's New Normal?

近い将来に想定された働き方を、各企業が否応なく実施せざるを得ない状況



在宅勤務の拡大 / ITインフラの急速な整備

コロナ禍を耐え忍ぶ緊急事態だけでなく、新しい働き方を推進する契機と捉え【Work Life Shift】BorderlessOfficeを推進

2. ニューノーマルにおける新しい働き方【Work Life Shift】

Work Life Shift

リアルとヴァーチャルの双方で常につながっている多様な人材が、イノベーションを創出し続ける状態をつくるニューノーマルな世界において、「働く」ということだけでなく、「仕事」と「生活」をトータルにシフトし、Well-Beingを実現する

【ベースとなる考え方】

- ・ 固定的な場所や時間にとらわれない
- ・ 社員の高い自律性と相互の信頼

Work Life Shiftの3本柱		
Smart Working 最適な働き方の実現	Borderless Office ワークプレイスの在り方の見直し	Culture Change 社内カルチャーの変革
<p>オフィスに毎日出勤することが前提の人事制度やIT環境を全面的に見直し。時間や働く場所にとらわれない働き方を実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ コアタイムの撤廃 ■ 通勤定期券の廃止 ■ 単身赴任の解消 ■ 環境整備サポート ■ スマートフォンの徹底活用 etc. 	<p>場所、組織、固定概念等のボーダーを超え、業務内容に合わせてシームレスに場所を選択する働き方を実現</p>	<p>社員の自律性と信頼に基づいたマネジメントにより、生産性向上を実現。テレワーク中心の働き方へと変容することに対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ Job型人事制度の導入 ■ 1on1 Meeting ■ 健康パルスチェック ■ ストレス診断 ■ AIによる業務の可視化 etc.

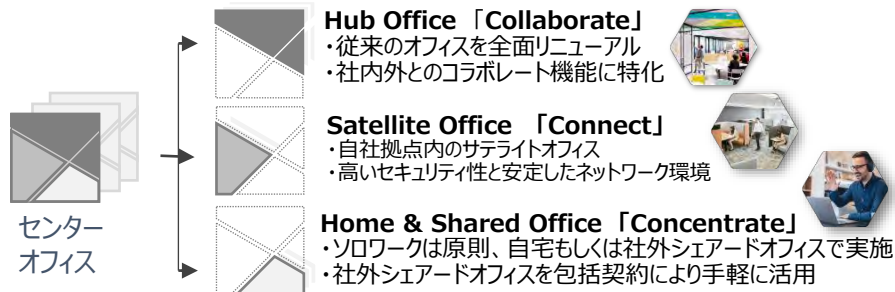
2. Borderless Office

2-1 コンセプト

[取り除くべき4つのBorder]

- ◆勤務地、国境などロケーションのBorder
- ◆部門、会社間など組織的なBorder
- ◆国籍、性別、障がいなどダイバーシティを阻害するBorder
- ◆固定観念など思考のBorder

[Workplaceの再定義] 従来のセンターオフィスの機能を3つに再定義



2-3 3つのワークプレイス

Hub Office for 「Collaborate」

首都圏4拠点 約65,000坪

※今後、全国拠点を整備

- ・拠点を越えた完全フリーアドレス
- ・執務席は現状の30%に設定
- ・組織を越えたプレスト、チームビルディング、情報交換、雑談の場
- ・位置情報、生体認証など最新の自社テクノロジーを導入
- ・社員と会社をつなぐVISION WALL
- ・DX推進によるオフィス内の完全ペーパーレスを実現



2-2 推進方針

トップの強いコミットメント

現場との密な議論をもとに、トップが強いメッセージを発信。一早く手掛けたのが、トップを含めた役員層のワークスタイル及びプレースの改革。社長室の壁をとり、役員フロアをフリーアドレス化。

三位一体での取組み

人事、総務、IT部門が制度・ワークプレイス・テクノロジーを三位一体となり改革を推進。各ワーカーの声をタイムリー反映させながら、アジャイル的に推進。

ワーカーの声を反映

改革にあたりワーカーの声をタイムリーに集める「VOICE」プログラムを活用。新たな働き方改革に関するワーカーの声をスピード感を持って施策に反映。

Concept Bookによる標準化

大規模なリニューアル及び新規構築を短期間に複数拠点で行うにあたり、Borderless Office Concept Bookを作成。社内外のステークホルダーでコンセンサスを図る。

Satellite Office for 「Connect」

全国23拠点 約3000席

- ・リアル・ヴァーチャルの両方でつながる場
- ・社員の住居、通勤経路を分析し、拠点の適正配置を検討



Home & Shared Office For 「Concentrate」

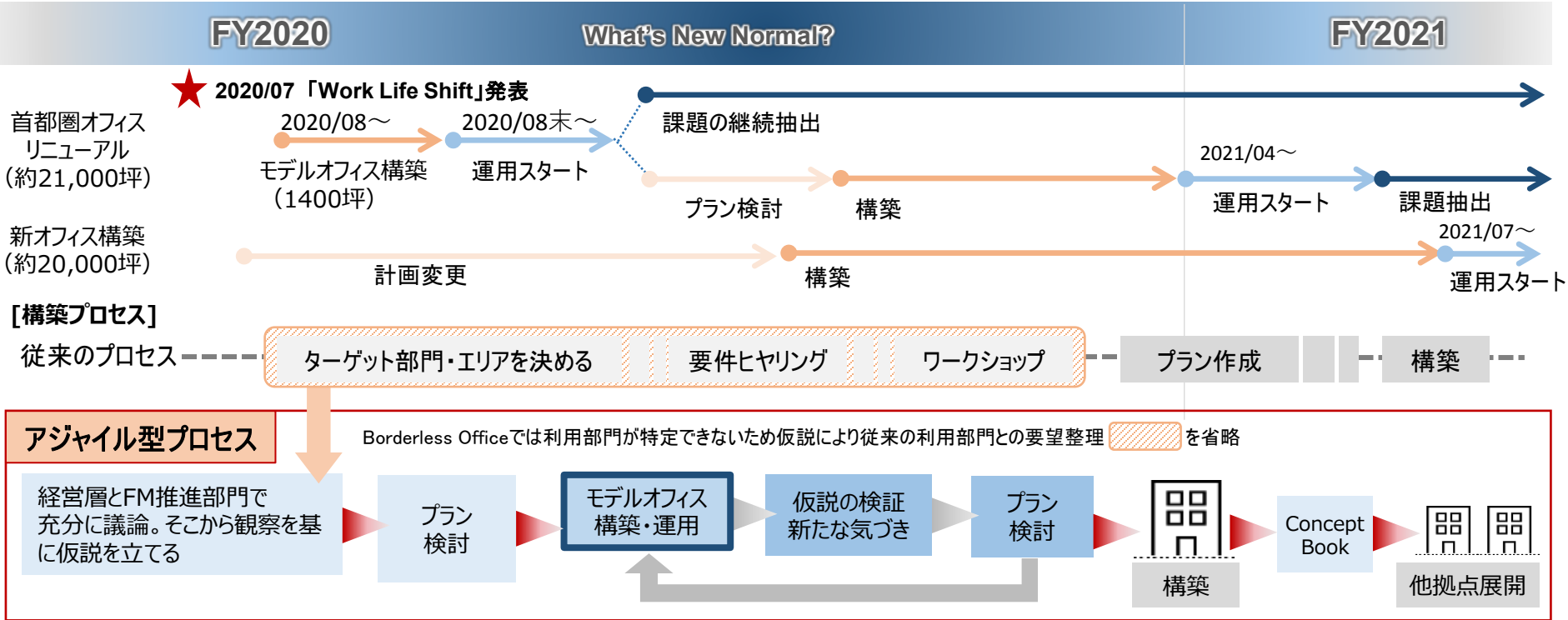
全国約700拠点

- ・テレワーク手当を実施
- ・複数社、複数拠点を社内アプリで一括管理
- ・ワーケーションにも活用



3. 推進スケジュール

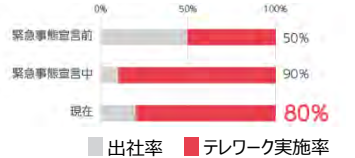
新しい働き方「Work Life Shift」を具現化するオフィスとして、部門ヒアリングからではなく、経営層と新しい働き方のイメージを共有した上で、**観察を通して仮説を立てスピーディに具現化、検証を繰り返すデザイン思考、アジャイル型**で推進。これにより意思決定スピードを速め、短期間で約40,000坪の改修、構築を実現



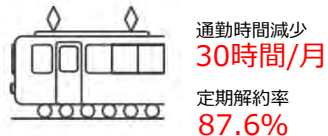
4. 効果

「通勤」という概念をなくす

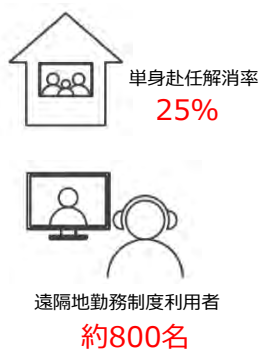
テレワーク中心の働き方へ移行



通勤時間の削減しLifeを充実

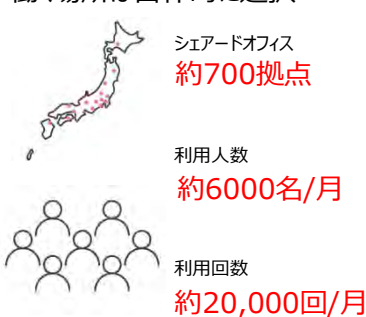


大切な時間を家族と一緒に



オフィスを半減、ワークプレイスを無限大に

働く場所は自律的に選択



経営にも大きく貢献

